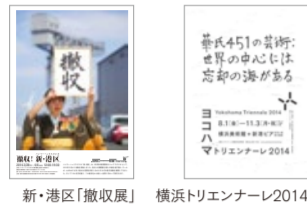




## 2014



- 3月 ハンマーヘッドスタジオ新・港区「撤収展」を最後に終了
- このころを起点にNYKでの活動が安定し大規模な企画展が続いた



ハンマーヘッドスタジオ新・港区「撤収展」 2014.3



田中信太郎 岡崎乾二郎 中原浩大「かたちの発語」 2014.4 ~ 6



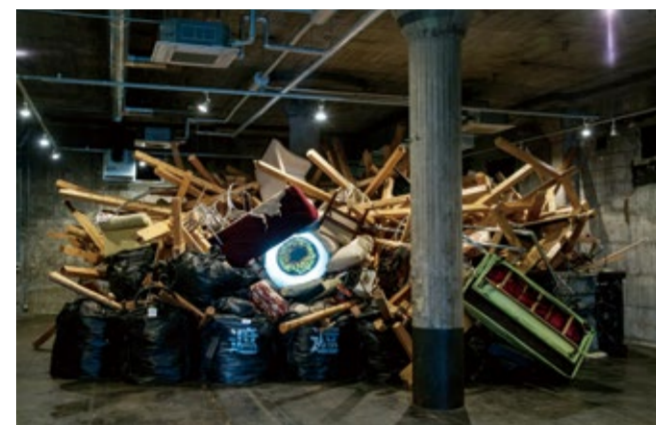
BankART Life V「東アジアの夢」 2014.8 ~ 11

有し、展覧会、レジデンス等に活用した。また、早い時期にBankART妻有を設置し、2015年には海外の初の拠点BankARTベルリンと続いた。このように、BankARTは、主体のない生きもののように、外部の変化を拒否せず、ほとんどを受容しながら、変幻自在に活動を継続してきた。こうした頼まれれば断らないお人好しの特性が正しいかどうかはわからないが、こうして出会ったあまたのクリエイター、行政マン、一般市民、地方や海外ネットワーク、有識者等に支えられながら、この間、のびのびと活動してきたことは確かである。**2018年度のBankART Studio NYKからの撤退。**今回

## 2017



- 日本郵船と契約更新できずNYK移転 旧日本郵船倉庫は解体予定



柳幸典「ワンダリング・ポジション」 2016.10 ~ 2017.1



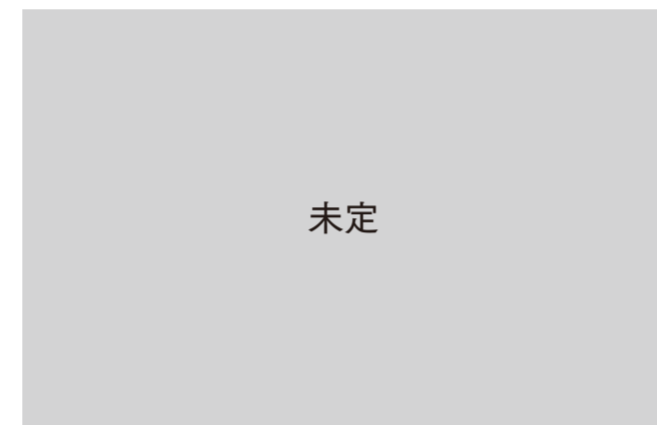
BankART Life V「観光」 2017.8 ~ 11



BankART BERLIN 2016 ~

の移動もなるとかなるだろうと、基本的には楽天的に考えているが、今度ばかりは積み重ねたもの（関係）が大きいので、正直いってちょっと大変だ。さて、これからどうなるか？ 街なかにもぐりこむかもしれないし、息途絶えてしまうかもしれないし、どこか知らない街で生き延びるかもしれないし、再び横浜に新しい本格的な居を構えることができるかもしれない。まさに放浪の最中であり、この文章を記している今現在でも本当のところ、わからない。ただどんな風になろうと、どこにしようとも、BankART 1929は横浜で生まれ、横浜に拠点を置くオーガナイザーとして、存在し続けていきたいと考えている。生き続けていきたいと思う。

## 2018



### 新住所 (電話・メールは変更なし)

BankART 1929 office  
〒231-0012  
横浜市中区相生町3-61 泰生ビル410  
TEL:045-663-2812 FAX:045-663-2813  
info@bankart1929.com  
www.bankart1929.com

## HEADLINE

- BankART is moving
- BankART1929 放浪頭末記

# BankART NEWS Vol.12

発行: BankART1929  
2018年3月31日発行

特集号!



## BankART is moving

13年間お世話になった旧日本郵船倉庫からBankART1929は旅立ちます。皆さんのおかげで、とても豊かな楽しい時間を過ごすことができました。展覧会を見に来てくれた人たち、ダンスイベントに参加してくれた方々、スクールに熱心に通ってくれたゼミ生、CafeやPubを楽しんでくれた方々、心震わす作品を提供してくれたアーティスト、空間を優しく変容させてくれた建築家やデザイナー、共に走ってくれたバスパーのマスター、タイカレーを毎日届けてくれたレストラン、お米や水やお酒、洗濯物を絶えることなくずっと配達してくれた地元のお店の人たち、おいしいバテを送り続けてくれた古くからお世話になっている人、国内外から訪ねてくれた数多くの視察団、私たちの運営を見守ってくれた評価・推進委員の人たち、BankARTの経済のベースの部分を支えてくれ、伴走してくれた横浜市の行政の皆さん、そしてその横浜市の財政を支えている市民と企業と日本国の方々、その他様々な人たちにお世話になりました。本当にありがとうございました。今年の春、BankARTで行っていた事業は少しずつ街なかインサートされ、再び元気のいい産声をあげはじめるとしています。

オフィスは関内地区の泰生ビル4F、カフェ&ショップやスクールは、そのビルの1F、アーティストのスタジオとしては、大規模な空間を整備しながら活用する予定です。(クリエイティブネットワーク実行委員会として)夏は、BankART妻有をフルオープンします。展覧会・イベント会場は未定ですが、当面は街なか展開していくと同時に、近い将来必ずグットしていきたいと思っています。2018年3月31日でBankART Studio NYKでの事業は全て終了いたします。4月8日(日)まではこれまでどおり連絡は通じます。4月9日(月)からは以下の場所に事務所は移転します。今後ともBankART1929をよろしくお願いいたします。

BankART1929  
〒231-0012 横浜市中区相生町3-61 泰生ビル410  
045-663-2812 (TEL) 045-663-2813 (FAX) info@bankart1929.com



# BankART1929 放浪顛末記

13年間継続したBankART1929が運営するメイン施設、BankART Studio NYKが2018年3月末日でその役割を終える。そして、まもなくこの建物は解体される。これまで築き上げてきたものを失う深い哀しみをともなう引越だが、BankART1929は、これまで、何度も何度も、引越、一時退居、増殖、遠征を繰り返してきた。



## 2004

- 3月6日 BankART1929誕生
- 2004年初夏、旧富士銀行への東京藝大誘致(横浜市)が突然決まり2004年末に撤退



BankART 1929 Yokohama



BankART 1929 Bashamichi (旧富士銀行) 2004.3 ~ 2004.12



BankART 1929 Bashamichi (旧富士銀行) 2004.3 ~ 2004.12

### 2004年の3月6日 BankART 1929誕生

みなとみらい線の開通を機に駅上に位置する旧第一銀行と旧富士銀行を活用してのBankART1929が誕生。

2004年初夏、旧富士銀行への東京藝大誘致(横浜市)が突然決まり2004年末に撤退。芸大がくることは喜ばしいニュースであることを理解してはいたが、契約期間内の移動に対して、BankARTからは、「タイムラグなく、同規模で、歩いていける場所」という難題を市に投げかけた。市は全市体制でこの難問を見事に解いてくれた。休眠状態だった旧日本郵船倉庫を借り上げ、その一部を改修して

2005年1月15日、BankART Studio NYK (1,600㎡)がオープン

2005年4月には旧富士銀行の大改修を経ての東京藝大映像学科開校という離れわざをやったのけた。

## 2005

- 1月15日、BankART Studio NYK (1,600㎡)がオープン(1Fの1部と2Fを活用)



BankART Studio NYK / マナダイPub 2005.1 ~ 2008.3



BankART Life 2005.10 ~ 12



BankART 妻有 桐山の家 2006.7 ~ 2006.6 ~ 2010.3

横浜トリエンナーレ2008が予定していた会場が急速キャンセルになり、BankART Studio NYKを全面改装して活用する話が持ち上がる。その結果、**横トリ2008終了迄はBankARTは放浪の旅にでることになる。**実際には、NYK



北仲BRICK & 北仲WHITE 2005.6 ~ 2006.10

## 2008

- 横浜トリエンナーレ開催のためNYKの全面改修のため一時撤退
- 12月、BankART Studio NYKが本格的なオルタナティブスペースとしてオープン(約3,000㎡)



BankART Life II 「ルーフトップ・パラダイス」(横トリ開催中、夜屋上のみしよう)



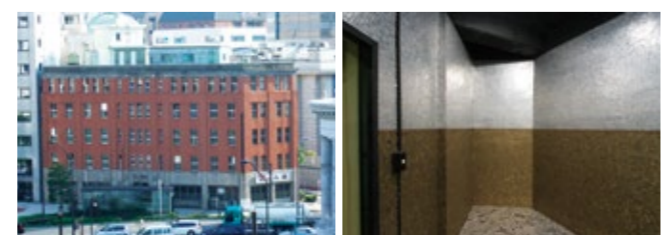
BankART Pub & Cafe 2008.4 ~



AIRスペースとして BankART かもめ荘オープン 2008.5 ~ 2010.3

の横トリ開催時間終了後は、夜間だけオープンする屋上での展覧会を行ったり、1FにはキッチンやBankART Mini (ギャラリー)もちゃっかり確保した。

横トリ終了後の2008年12月、BankART Studio NYKが本格的なオルタナティブスペースとしてオープン(約3,000㎡)原典典之展等、大型の企画展がスタートした。面積が十分確保されたこともあり、**2009年4月にBankART 1929 Yokohama (旧第一銀行)は撤退。**



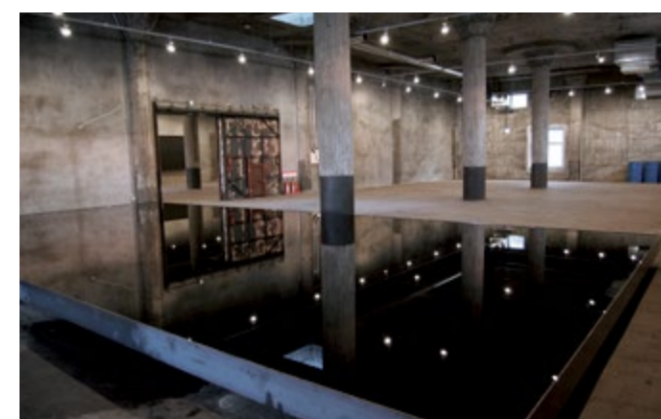
本町ビル45 (シゴカイ) 2006.11 ~ 2010.9 BankART金庫室(ギャラリー)

## 2009

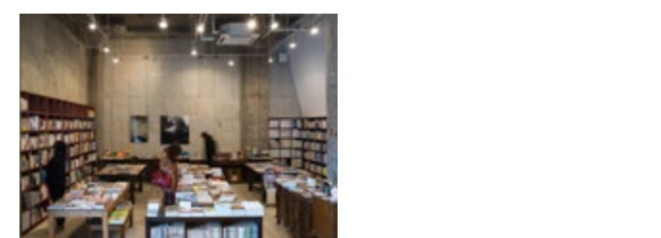
- 4月にBankART1929 Yokohama(旧第一銀行)は撤退
- 新しくヨコハマ創造都市センターが誕生(横浜芸術文化振興財団運営)



BankART Studio NYK



原典典之「社会と物質」2009.5 ~ 6



BankART Shop

2011年、横トリ2008の際に第二会場として建設された新港ピア(4,400㎡)が、組織委員会では活用しないこととなり、トリエンナーレの本会場としてBankART Studio NYKに予先が向き、準備、開催期間は撤退することになる。一方、新港ピアの活用は横浜市にとってはマストだったため、**リリーフとしてBankARTが当番することになり、「新・港村」というプロジェクトを開催する。**終了後、次回の横トリに活用するかは保留という事情もあり、BankART1929が事務局を務める実行委員会が、**2012年度、2013年度は「ハンマーヘッド**

## 2011

- 7月 横トリ2011開催のためNYK一時撤退
- 新港ピアへ(4,400㎡)



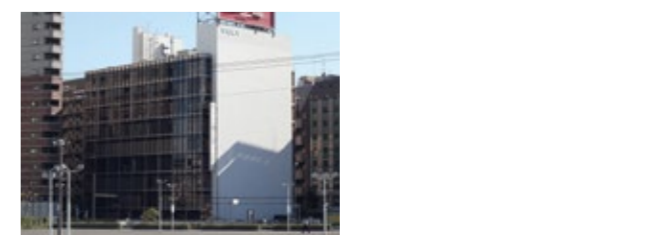
BankART Life III 「新・港村」 2011.8 ~ 11



BankART Life III 「新・港村」 2011.8 ~ 11

**ドスタジオ新・港区**という巨大シェアスタジオとして活用することになる。満期終了の中、横トリ2014がこの空間を再び活用することになったので、「**新・港区**」は**2014年春「撤収展」**を最後に幕を閉じた。その頃から、NYKが安定してきたこともあり、大型の個展「川俣 正展」、「かたちの発語展」(田中信太郎+岡崎乾二郎+中原浩大)、「柳 幸典展」の他、横トリと連動した「東アジアの夢~ BankART Life IV」 「観光~ BankART Life V」等の大規模な企画展が続いた。

こうして本道の流れを記してもかなり複雑だが、これ以外にも、BankARTは、大型のシェアスタジオを推進してきており、その代表的なものが、「北仲BRICK&北仲WHITE」だ。2005年当時、森ビルが再開発を進めていたゾーンに建つ「元帝蚕倉庫のオフィス」を活用した巨大なシェアスタジオだ。250余名のアーティスト、クリエイターたちが居を構えていた。一年半の満期終了後も、こうしたクリエイターたちは横浜に残り、



宇徳ビルヨソカイ 2010.10 ~ 2017.9

## 2012

- 4月 ハンマーヘッドスタジオ新・港区スタート



「ハンマーヘッドスタジオ新・港区」 2012.4 ~ 2014.4



川俣正「Expand BankART」 2012.10 ~ 2013.1

「ZAIM/横浜市芸術振興財団」、「本町ビルシゴカイ」、「宇徳ビルヨソカイ」等にリレーされていった。こうした動きに拍車をかけたのが横浜市のクリエイター助成制度で、関内外地区には数多くのクリエイターが居を構えるようになった。その他、街なかにも、「BankART 桜荘/黄金町」、「BankART かもめ荘/日ノ出町」、「本町ギャラリー」などを所